



おいで、アラスカ！

ウォルツ作 の ざかえつ こ 野坂悦子訳 フレーベル かん 館

私はパークル。子犬のときから飼っていた大好きなアラスカを手放して四か月。そのあいだ、アラスカがだれの介助犬になったのか、つきとめようとした。ところが新しい飼い主はスフェンだった。私にあだ名をつけ、からかってくるいじわるな転校生のスフェン。あの子には、アラスカといっしょにいる資格なんかない。アラスカを誘拐しよう。

強盗のトラウマに苦しむパークルと、てんかんの発作に不安を抱えるスフェン。二人の真夜中の交流からはじまる物語。

